

## 令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県南会場

#### 科目 ⑪保護者との連携・協力と相談支援

- ◆ 子どもの健全な成長と子どもの安全な生活のために、同じ目的を持つ保護者との連携がいかに大切か理解することができた。バイステックの原則を取り入れることで、保護者の思いを理解し受け止め、よりよいコミュニケーションにつなげることができる。この原則を理解し、活用することで、様々な人間関係にも役立つのだと思った。子どもの健全な成長をサポートできるよう、保護者の気持ちに寄り添うことができるよう、学んだことを活かしたいと思う。
- ◆ 大人も子どもも自信を持つための条件は同じで、褒める・認めることの大切さを知り、子育てを褒めることは保護者の生き方を褒めていることと同じと知りました。子どもが泣きじゃくっているときは、落ち着いてから話を聞くこと、また、お互いの距離が大切で、身体を相手に向けること、テンポを合わせる、全部声に出さなくても良い、うなずくだけでもよいことがとても参考になりました。
- ◆ 子どもたちの生活環境が変化し、保護者の子育ての不安感や負担感が増えてきているように思います。不安や悩みに寄り添い、子どもへの愛情や成長を喜ぶ気持ちを少しでも共感し合いたいと思います。そして、保護者とのコミュニケーションを取る際に、身体表現や口調や言語で印象が決定されると思いますが、話を聴くことで思いやりが伝わり、安心感が生まれるのではないかと思います。
- ◆ 保護者及び保護者組織との連携のあり方、保護者からの相談への対応のあり方について学びました。グループワークでは、視線や表情、うなずきなどで、相手に対する印象が変わり、コミュニケーションに大きく影響が出ることを体験できました。また、子どもの行動・様子を通して、家庭での指導を褒めることにより、子育てを褒める、ひいては保護者の生き方を褒めることに繋がるということでした。保護者とのコミュニケーションのなかで今回学んだことを意識していきたいです。
- ◆ 児童クラブでのお迎えの時には保護者にその子の言動をほめてプラスのイメージを伝えるように心がけていましたが、事柄だけの会話になりがちだったと反省しました。感情も合わせて伝えることが思いやり・安心感に繋がるのが分かったので、今後は意識して対応したいと思いました。伝えたいことに集中するのではなく、どう伝わったのかが重要で、会話の中で保護者にやわらかく言葉をかけて、あたたかく肯定的な姿勢で保護者を支援していきたい。